

沖縄労働局発表

令和8年9月14日（月）

【照会先】

労働基準部 健康安全課

課長 白倉幸弥

地方産業安全専門官 上里美樹

電話：098（868）4402

取材依頼

建設業における 死亡労働災害等の撲滅を緊急要請

沖縄労働局（局長 宮本 淳子）は、県内建設業の労働災害による死亡者数が昨年1年間で0人であったのに対し、本年はすでに3人の尊い命が失われるという状況を極めて憂慮すべき事態と捉え、死亡災害等の撲滅に向け建設現場における安全管理の一層の徹底を強く求めるべく、建設業労働災害防止協会沖縄県支部長及び一般社団法人沖縄県建設業協会長に対し、自主点検の確実な実施等による安全衛生活動の再徹底を求める緊急要請を行います。

沖縄労働局長（宮本 淳子）が要請文を手交いたします。建設現場における死亡災害防止に向けた緊急の取組を広く県民及び事業者にも周知するため、報道機関の積極的な取材をお願いいたします。

（1）日時：令和8年9月17日（木）午後 2時

（2）場所：沖縄県浦添市牧港 5-6-8（沖縄県建設会館 2階）

当日取材を希望される報道機関関係者は、令和8年9月17日（木）午前10時までに上記照会先あてに、ご連絡ください。

＜参考資料＞

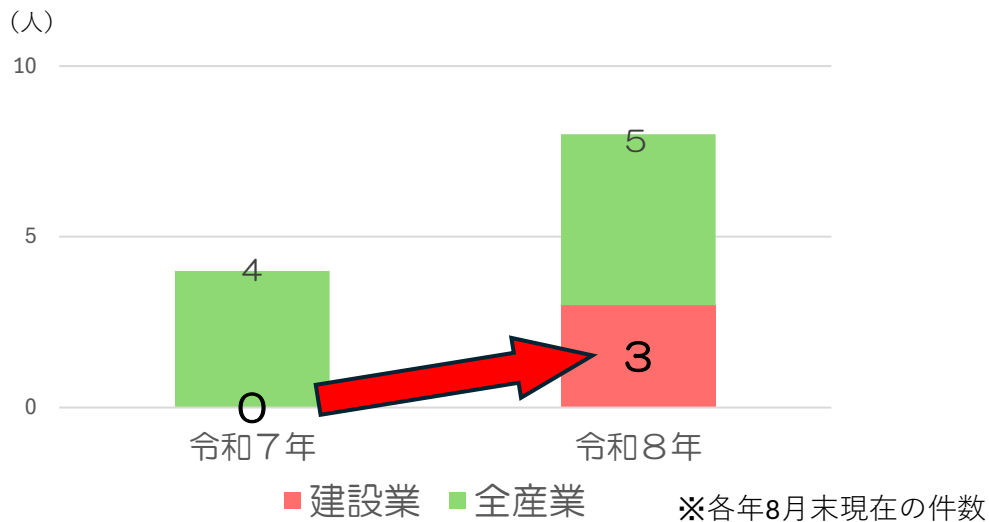
死亡災害発生状況



死亡災害発生状況

1. 死亡災害発生件数の比較

建設業における労働災害の死亡者数は、令和7年（8月末現在）は0人に対し、令和8年（8月末現在）は3人と増加しています。



2. 死亡災害の概要

番号	所轄署	発生月	事故の型	起因物	業種	年齢	発生状況
1	那覇	1月	墜落・転落	建築物、構築物	電気通信工事業	60歳以上	被災者が単独で、引込電柱の上部から順次足場ボルトの撤去作業を実施していたところ、しばらくして付近に倒れている被災者を同僚が発見したもの。被災者はヘルメット着用しておらず、構造規格に適合しない墜落制止用器具を着用していた。
2	名護	4月	はさまれ・巻き込まれ	整地・運搬・積込み用機械	道路建設工事業	50歳代	4トラックでリサイクル工場へ砂利を買いに来た被災者が、リサイクル工場の敷地内に停めたトラック後方の地上で、荷台に積み込まれた砂利を均す作業を行っていたところ、砂利の積込を行っていたホイールローダーがバックし、トラックとホイールローダーの間に挟まれ被災したもの。
3	八重山	8月	飛来・落下	フォークリフト	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	60歳以上	フォークリフトによる運搬作業時、フォークに差し込んでいた鉄製の長尺物（長さ約3.5m、重さ約200kg）が、高さ約3.2mから落下し、被災者の頭部に当たり被災したもの。